

第五回・第六回部会の報告について

1 開催概要

1.1 第五回部会

- 日 時 令和7年11月27日（木）午前10時00分から午前12時00分
- 場 所 萌え木ホール 3階 A会議室
- 主な議題 ① 前回会議でのご意見について …部会資料1
② 地域懇談会・オープンハウスの実施報告について …部会資料2
③ 交通ネットワーク再編計画について（市南部の再編案） …部会資料3
（1）中町循環の再編案
（2）東町循環の再編案
④ 交通ネットワーク再編計画について（市北部の再編案） …部会資料4

1.2 第六回部会

- 日 時 令和8年1月21日（水）午前10時00分から午前12時00分
- 場 所 前原暫定集会施設 A会議室
- 主な議題 ① 前回会議でのご意見について …部会資料1
② 市南部の再編案について（パブコメ意見・最終案） …部会資料2・3
③ 今後のスケジュールについて …部会資料4
④ 市北部の再編案について …部会資料5
⑤ 再編後の収支見込みと運賃制度について …部会資料6

2 協議結果

2.1 第五回部会

2.1.1 地域懇談会・オープンハウスの実施報告について

1) 協議内容

- ・部会資料2：地域懇談会・オープンハウスの開催状況及び参加状況を示すとともに主な意見を紹介した。

2) 主な意見等

- 特になし

2.1.2 交通ネットワーク再編計画について（市南部の再編案）

1) 協議内容

- ・部会資料3：CoCoバスの市南部の再編案について、パブリック・コメントに示す資料案を提示した。

2) 主な意見等

- パブリック・コメント用としてわかりやすい内容になるよう資料掲載図や内容について意見をいただいた。

- いただいた意見を踏まえて修正した資料にてパブリック・コメントを行うことを伝えた。

2.1.3 交通ネットワーク再編計画について(市北部の再編案)

1) 協議内容

- ・部会資料4：市北部の再編案について、運行の向きやバス停の設置場所、乗り継ぎや跨ぎ乗車の可否、路線名などを説明した。

2) 主な意見等

- 北東部循環と CoCo バス関野橋循環について、乗り継ぎ券の発行は不要である。一度下車した場合は運賃を支払う。一日乗車券の使用も考えられる。
- CoCo バス関野橋循環の運行向きについて、時計回り・反時計回りいずれの方向も考えられるとの意見があった。
- 東小金井駅北口のバス停位置について、降車専用バースがあるほうがよい、路線バス関野橋循環と CoCo バス関野橋循環は同じバス停が良いとの意見があった。
- 路線名称についていくつか意見があった。

2.2 第六回部会

2.2.1 市南部の再編案について(パブコメ意見・最終案)

1) 協議内容

- ・部会資料2・3：パブリック・コメントの意見を紹介し、市南部の再編案について説明した。一部、中町循環の時刻表について利便性を考えて再考する可能性があることを示した。

2) 主な意見等

- CoCo バス・ミニ(野川・七軒家循環、東町循環)へのICカードの導入について状況確認の意見があった。

2.2.2 今後のスケジュールについて

1) 協議内容

- ・部会資料4：今後の検討スケジュールについて説明を行った。

2) 主な意見等

- 運賃部会の位置付けや参加者について確認の意見があった。

2.2.3 市北部の再編案について

1) 協議内容

- ・部会資料5：市北部の再編案について、前回部会での意見を踏まえた方針について説明をした。

2) 主な意見等

- 東小金井駅北口に設置を検討する降車バースについては再編を待たず早期の設置を

望む。

- ダイヤ設定において、遅延が生じないように考慮してほしい。
- 路線名称は来街者もわかりやすいものがよい。
- CoCo バス関野橋循環の停車バス停について、北東部循環のバス停も停車したほうが良いのではないかとの意見があったが、誤乗車等を考え、現在の路線バス関野橋循環と大きく変わらない方が良いのではないかとの意見もあった。

2.2.4 再編後の収支見込みと運賃制度について

1) 協議内容

- ・部会資料6：現在の路線バスの運賃の状況、CoCo バスの収支の状況等を踏まえた運賃の改定案及び再編後の利用者・収支の予測結果について説明を行った。

2) 主な意見等

- 再編部会で、運賃について協議を行うことに対する意見があった。
- 再編に便乗した値上げと受け取られないよう、きちんとした理由の整理が必要であるとの意見があった。
- 他方、生活に関する物価上昇があるなか、CoCo バスの運賃値上げも必要であるとの意見があった。

3) 意見交換会の実施

公募市民の委員及び事務局にて、運賃改定の考え方について意見交換会を実施した。

持続可能な運行を維持するために、「路線バスと CoCo バスを合わせて交通ネットワークを構築すること」、「路線バスと CoCo バスの運賃格差をできるだけ生じさせないような CoCo バスの運賃体系を検討する必要があること」が大切であるという認識を確認した。